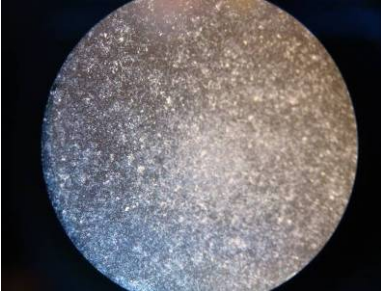
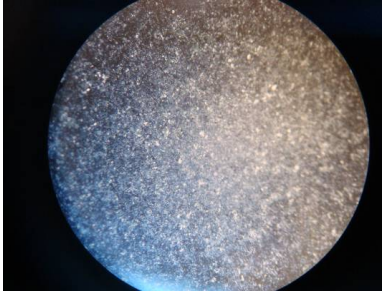
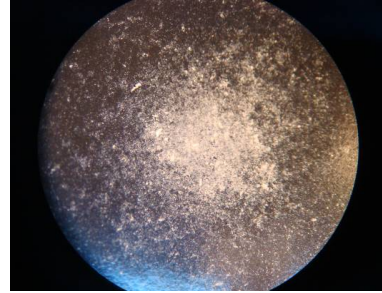

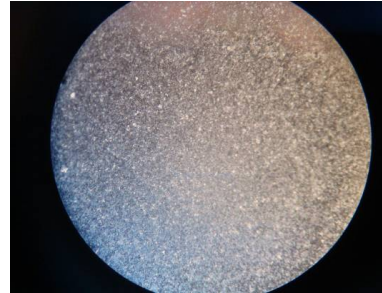
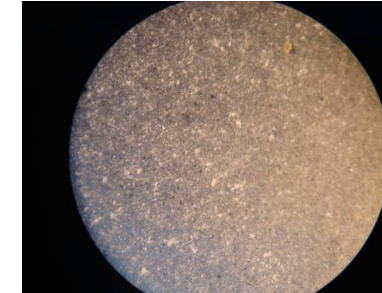
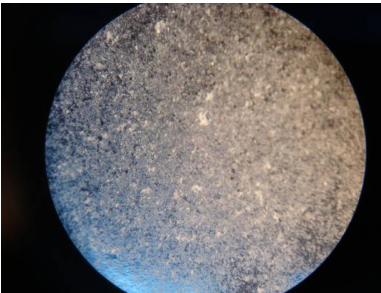



ビタミンC+パーファイラー101 高打圧打錠試験

目的	EIP 杵による滑沢剤を含有しない錠剤の製作を検討する。
使用薬剤	ビタミンC(直打用) 50%、パーファイラー101 50%、 パーファイラー101 内訳 ヒドロキシプロピルスターチ 約60% 合成ケイ酸アルミニウム 約20% 結晶セルロース 約20%
使用杵	鏡面+HCr・鏡面+CrN・MH3+CrN・EIP(BN) 以上4種類の上下の杵
錠剤硬度	40N
打圧	本圧上ロール:550kgf 本圧下ロール:450kgf
試験方法	①表面処理の異なる杵を、タブレットマシンを使用して低打圧にて打錠する。 ②杵に付着が発生し、錠剤表面に剥離が発生した時点まで打錠する。 ③打錠後、杵打錠面を顕微鏡にて観察する。 ④錠剤の崩壊時間を測定した。

杵、打錠試験後の写真

		
鏡面+HCr 上杵 20rpm で 10 分間打錠	鏡面+CrN 上杵 20rpm で 10 分間打錠	MH3+CrN 上杵 30rpm で 35 分間打錠
		
EIP 杵 上杵 30rpm で 35 分間打錠	鏡面+HCr 下杵 20rpm で 10 分間打錠	鏡面+CrN 下杵 20rpm で 10 分間打錠
		
MH3+CrN 下杵 30rpm で 35 分間打錠	EIP 杵 下杵 30rpm で 35 分間打錠	

結果

- ◆ 鏡面+HCr
20rpm で10分間打錠した。上杵は打錠面全体付着が発生しており、下杵は打錠面全体に曇りが発生した。
- ◆ 鏡面+CrN
20rpm で10分間打錠した。上杵は打錠面全体付着が発生しており、下杵は打錠面全体に曇りが発生した。
- ◆ MH3+CrN
30rpm で35分間打錠した上杵は中心部のみ付着が発生しており、下杵は打錠面全体に曇りが発生した。。
- ◆ EIP 杵
30rpm で35分間打錠した。上、下杵共に打錠面全体に曇りが発生した。
- ◆ 錠剤
水につけると8秒前後で崩壊した。また錠剤中心部は表層部に比べて崩壊時間が長くなった。

以上で、お客様の要望に答えたステアリン酸マグネシウムを含有しない①、イブプロフェン+パーフィラー101 ②、イブプロフェン+マンニトール+アイロジル ③、ビタミンC+パーフィラー101 の3種類での打錠テスト及び口腔内速崩壊錠の打錠試験が終わりました。

これらの試験結果から、EIP 杵とフッ素複合メッキの臼の組み合わせで、ステアリン酸マグネシウム無しの錠剤の製造が可能だと考えます。